

1. 件名：福島第一原子力発電所における実施計画の変更認可申請（大型廃棄物保管庫の架台等の設置）に係る面談
2. 日時：令和4年3月2日（木）10時00分～11時30分
3. 場所：原子力規制庁 6階会議室
4. 出席者
原子力規制庁 原子力規制部
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
正岡企画調査官、新井安全審査官、高木係長
高木技術参与（テレビ会議システムによる出席）
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
プロジェクトマネジメント室 担当2名（テレビ会議システムによる出席）
廃炉・安全品質室 担当1名
福島第一原子力発電所 担当13名（うちテレビ会議システムによる出席10名）
5. 要旨
 - 原子力規制庁は、東京電力ホールディングス（株）から提出された資料に対して、今後実施予定の「特定原子力施設の実施計画の審査等に係る技術会合」に向けて、主要な論点について事実関係を確認した。
 - クレーン設計の対応方針
 - 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、主に以下のコメントを伝えた。
 - クレーンの耐震クラスと波及的影響の評価において適用する地震動について、クレーンの運転時間や使用期間、駐機位置における配置上の工夫等を踏まえた上で、「東京電力福島第一原子力発電所における耐震クラス分類と地震動の適用の考え方」（令和4年11月16日規制委員会了承）に基づき、どのようなロジックでB⁺クラス等と整理したか説明すること。
 - 東京電力から、上記コメントについて了解した旨の回答があった。
6. その他
資料：大型廃棄物保管庫に係る実施計画の変更について（クレーン設計の対応方針）

以上